

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	産褥大量出血による搬送症例研究
研究責任者	岩佐 美穂
研究機関名	日本赤十字社医療センター 産婦人科
研究目的と意義	東京都は2009年3月に「母体救命搬送システム」体制を、当センターを含めた3病院で発足させ、現在は6病院で運営されています。発足から9年間経過し、当センターへの産褥大量出血による搬送は近年増加傾向であり、特に硬膜外無痛分娩に伴う大量出血では重篤な症例が少なくありません。そのため、今後の搬送システム維持、改善を目的に産褥大量出血による搬送症例について検討します。
研究方法	2009年4月から2017年3月までに経験した、出血量100ml以上の産褥大量出血による母体搬送症例を対象とし、分娩様式、搬送元での診断、出血量、分娩から当センター搬送までの時間、治療などについて後方視的に解析を行います。研究にあたって、個人情報には十分に配慮し、解析を行います。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方は下記までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：岩佐美穂 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604